



九 月 一 日 の

追 憶

想起せよ一九二三年九月一日を！

この日われ等は史上未曾有の大災害を被つたのだ。あゝ倒壊するビルディング、天に沖する火災、地を覆へる哀哭の涙。それは悲惨の極であつた、しかしわれ等は立ち上つたのだ。再び彼の地震が襲ひ來るとも……と災後爰に十年、耐震構造の異常なる發達をもたらして、東京は復興した。技術者の涙ぐましき努力が酬ひられたのだ。そして、我等は今にして彼の災害が、われ等の工事技術に對する全能の神の計ることの出来ない計畫による試練であつたことをさとる。こゝで、すべての工事人よ、一九二三年九月一日を永遠に記念せよ！と叫ぶものだ。(寫眞は關東大震の際の逓信省の被害)